

第38回「とやま賞」候補者推薦要領

1. 「とやま賞」の趣旨

現在の活動実績がすぐれ、かつ、富山県ならびに日本の将来を担うにふさわしい前途有為な人材の育成に資する。

2. 候補者の条件

- (1) 富山県出身または富山県内在住の者
- (2) 学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツ等の分野において、すぐれた業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人または団体

- 候補者の年齢は45歳まで（令和3年5月9日現在）とします。
- ただし、学術研究部門人文社会分野についてのみこの限りではありません。
- 大学・研究機関等にあつては准教授相当クラスまでとし、教授は含みません。

3. 提出書類等

下記(1)、(2)の書類の電子データをEメール添付の上、送付すると共に、原本1部を郵送すること。

- (1) 第38回「とやま賞」候補者推薦書
- (2) 財団が指定する提出資料（以下枠内参照）

- (1)、(2)とも、所定の用紙（Word、PDF形式）を財団のホームページよりダウンロード可能です。
- Eメールにかえて、全てを書き込んだCD-R等での提出も認めます。
- ファイルサーバー、ファイル転送サービスの利用も認めます。
- (1)の電子データ送付に当たっては、2ページ目の「推薦者氏名」欄右方にある押印欄は空欄で差し支えありません。ただし、郵送いただく原本では同欄に必ず押印してください。

財団が指定する提出資料

（全ての提出資料は電子化し、書類等とあわせて提出すること。）

1. 学術研究部門（新たな知見や解釈等、理論・方法論的な研究に対する部門）

- (1) 推薦の根拠となる「応募業績の要旨」……………（様式1）
- (2) 2015年以降の研究論文等のリスト……………（様式2）
 - ア 論文の著者名は原論文のとおり記入し、自己の氏名の下に線を引くこと。
 - イ 医薬、理工、科学技術系の論文においてはインパクトファクターとField Weighted Citation Impact (FWCI) を記すこと。
 - ウ 代表論文等5編の論文番号に○印を記すこと。
 - インパクトファクターとFWCIはわかるもののみ以下の例のように論文末尾に記すこと。
 - 例) インパクトファクターが1.485、FWCIが1.475の場合
(IF = 1.485, FWCI = 1.475)
 - インプレスの場合はそれがわかるもの（受理通知など）を提出すること。
- (3) 全国規模の会議及び国際会議における特別講演・基調講演・招待講演など
主な講演のリスト……………（様式3）
 - 講演は主催団体等からの依頼により行った講演のみとします。学会における研究発表・事例研究に相当する講演は除きます。
- (4) 受賞歴（受賞年不問）……………（様式3）
- (5) 科学研究費助成及び公的財団・民間等による助成のリスト……………（様式4）
- (6) (2)のウに該当する代表論文等5編全文の写し。論文等が書籍である場合も写しを作成し提出すること（共著の場合は担当部分のみで可）。書籍の場合は、加えて書評等を提出すること（学術論文・ジャーナルの場合は不要）。
- (7) (6)により提出する代表論文等が英語以外の外国語で書かれている場合は、以下の資料を提出すること。
 - 英語以外の外国語で書かれた論文については、2,000字程度の日本語の概要。
 - 英語以外の外国語で書かれた著書については、日本語の目次と4,000字程度の日本語の概要。

2. 科学技術部門 (理論を基に、知識の実用化に寄与したものに対する部門)

学術研究の部(1)から(7)に準ずる。ただし、(6)に関しては、研究論文に代えてまたは加えて公表文献(応募業績に係るもので公表年次は不問)及び特許等、業績内容を紹介する資料等を提出すること。

3. 文化・芸術部門

- (1) 推薦の根拠となる「応募業績の要旨」……………(様式1)
- (2) 活動歴および今後の活動予定……………(様式5)
- (3) 受賞歴(受賞年不問)……………(様式3)
- (4) 科学研究費助成及び公的財団・民間等による助成のリスト……………(様式4)
- (5) 業績内容がわかる作品や音源(CD)等または図録、著書、CD等の著作物。ただし、共著の場合は当該部分の写しを提出すること。なお、音源を提出する際は、未販売のものはCD-RにオーディオCD形式で収録すること。販売されている場合は、販売されているものを送付するか、CD-Rに上記の形式でコピーの上、送付すること。

4. スポーツ部門

- (1) 推薦の根拠となる「応募業績の要旨」……………(様式1)
- (2) 活動内容・業績、記録等のリスト……………(様式5)
- (3) 受賞歴(受賞年不問)……………(様式3)
- (4) (2)に関する活動内容・業績、記録等を掲載した資料の写し(A4版)

5. 各部門共通事項

- (1) 業績及び成果を掲載した雑誌、著書、新聞等資料の写しがあれば、参考書類として添付しても差し支えない(A4版)。ただし、著書を提出する場合も当該部分の写しを作成し提出すること。また、書評等があればあわせて提出すること。
 - ・書籍のまま提出する場合は2冊提出すること。
- (2) 提出書類は原則として返却しない。
 - ・絶版・初版等特別な事情があるときは、応募にあたり前もって相談すること。
- (3) 団体に応募の場合、構成メンバーと役割分担の分かる資料を提出すること。
 - ・様式は定めませんが、A4版・1ページに収めること。

4. 推薦締切

令和2年11月16日(月) 正午必着

(電子データ又は郵送書類が締切に間に合うことを要する。ただし、両方が揃って初めて応募受理となる。)

5. 送付先

(公財)富山県ひとつづくり財団 事務局あて
〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1
富山県教育記念館2F

電話 076-444-2000
FAX 076-444-2001
E-mail toyama-award@t-hito.or.jp
ホームページ <http://www.t-hito.or.jp>

6. 選考、発表

- (1) 本財団においてとやま賞選考委員会を設置し、候補者の将来性、独自性、国際性等の観点から慎重に審議し、受賞者を決定する。
- (2) 受賞者の発表は令和3年4月下旬の予定。

7. 表彰

- (1) 受賞者には奨励金100万円を贈呈する。
- (2) 贈呈式は令和3年5月中下旬の予定。
 - ※贈呈式にはやむを得ない場合を除き、ご出席願います。

※候補者・推薦者の個人情報については厳重に管理し、「とやま賞」以外の目的には使用いたしません。応募に際し、受賞者の履歴、研究内容などについては公表されることをご了承の上ご応募ください。